

## 研究会「電荷とスピンの織りなす時空間マルチスケール揺らぎ」

共催：科研費補助金「電子型誘電体における新奇な誘電性の探索と発現機構の解明」

平成26年12月20日（土）岡山大学理学部本館1F・大会議室

9:25-9:30

はじめに

[Oxide I] (座長：石原)

9:30-9:50 池田 直 (岡山大理)

RFe<sub>2</sub>O<sub>4</sub>の誘電相転移、電荷秩序そして化学当量性

9:50-10:10 鳴海 康雄 (東北大金研)

LuFe<sub>2</sub>O<sub>4</sub>の価数選択強磁場磁化過程

10:10-10:20 石橋 善弘 (名大工)

分散関係における錐状点交差について

10:20-10:40 山内 邦彦 (阪大産研)

電荷秩序が誘起する強誘電酸化物の電子状態計算

10:40-11:00 東 正樹 (東工大応セラ研)

PbCrO<sub>3</sub>のPb<sup>2+/4+</sup>電荷ガラスとサイト間電荷移動

11:00-11:20

Break

[Organic I] (座長：岩井)

11:20-11:40 近藤 隆祐 (岡山大理)

有機導体における電荷秩序相近傍の電子状態

11:40-12:00 宮川 和也 (東大工)

磁気共鳴でみた中性-イオン性転移

12:00-12:20 森 初果 (東大物性研)

プロトン-電子相関系分子性物質の圧力効果

12:20-13:30

Lunch

[Organic II] (座長：佐々木)

13:30-13:50 賀川 史敬 (理研)

電荷自由度におけるガラス形成能 — θ-ET 塩を例として

13:50-14:10 妹尾 仁嗣 (理研)

多軌道系分子性導体における電荷・スピン状態

14:10-14:30 堀田 知佐 (東大総合文化)

電荷のゆらぎ

14:30-14:45

Break

[Oxide II] (座長：石原)

14:45-15:05 有馬 孝尚 (東大新領域)

ペロブスカイト型 SrFeO<sub>3</sub> における逐次磁気転移と緩和現象  
15:05-15:25 勝藤 拓郎 (早大理工)

強相関電子系における非線形伝導と不均一の可能性  
15:25-15:45 寺崎 一郎 (名大理)

ダイマー・トライマー構造を持つ系の電荷秩序  
15:45-16:05 前田 京剛 (東大総合文化)  
マイクロ波・THz でみる銅酸化物超伝導体・鉄系超伝導体

16:05-16:20 Break

[Organic III] (座長：池田)

16:20-16:40 佐々木 孝彦 (東北大金研)

分子性導体におけるダイマーモット状態と電荷秩序状態の拮抗

16:40-17:00 山本 薫 (岡理大理)

TBA

17:00-17:20 岸田 英夫 (名大工)

ダイマーモット絶縁体の電荷自由度と振動分光

17:20-17:40 岩井 伸一郎 (東北大理)

1.5 サイクル赤外パルスが駆動する電子誘電体の超高速電子ダイナミクス

17:40-18:00 石原 純夫 (東北大理)

ダイマーモット系の電子状態とスピン液体の可能性

18:00-18:10 終わりに

### 世話人

池田直 (岡大理)、佐々木孝彦 (東北大金研)、  
岩井伸一郎 (東北大理)、石原純夫 (東北大理)